

(資料1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移
(最近の動向)

令和3年6月16日
四国森林管理局

目 次

I	管内における主な原木市場・共販所の状況	
1	県別丸太価格の推移	1
2	県別丸太取扱量の推移	6
II	管内における製材用素材の状況	
1	製材用素材入荷量の推移	9
2	製材用素材在庫量の推移	10
III	全国の丸太価格の動向	11
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移	13
2	全国の住宅着工戸数の推移	14

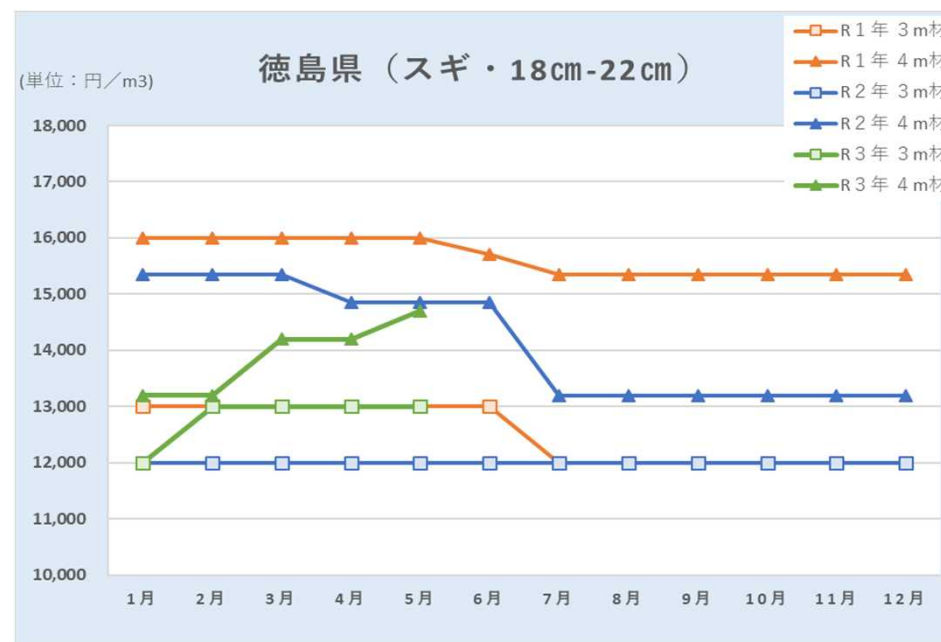
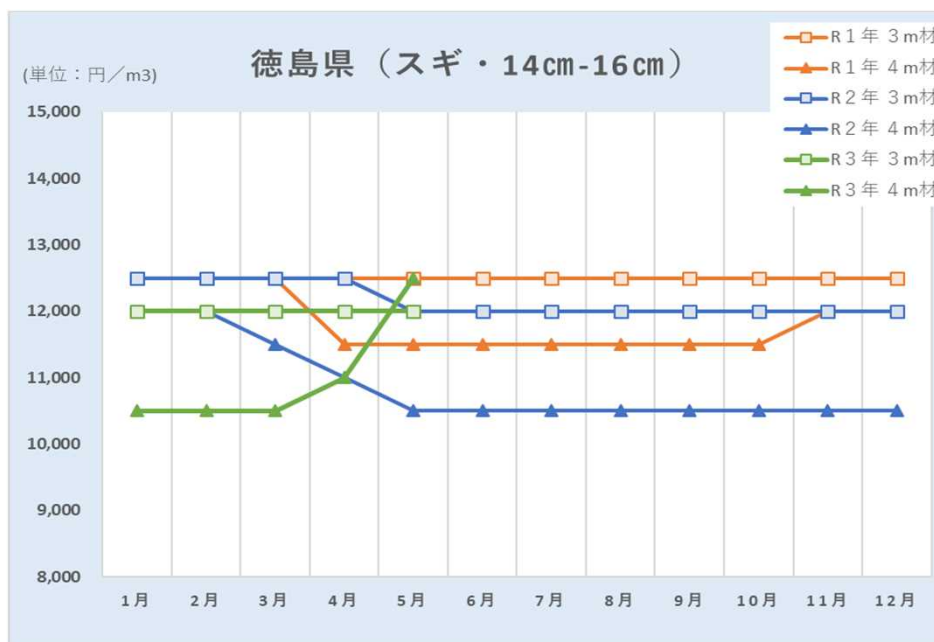
管内における主な原木市場・共販所の状況

1-(1) 徳島県内のスギ丸太価格の推移

- 例年ほぼ安定している相場も令和2年は4～5月頃に大幅に下落、その後、横這いを迎える。
- 買方の引き合いは良いことから、本年3月頃からは価格の変動は小さいが回復傾向に転じ、以後わずかな上昇基調で推移。
- 本年5月のスギ丸太価格は、対前年比1%減から19%増。

○5月のスギ丸太価格 (単位：円/m³)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	12,000	10,500	12,000	14,850
令和3年	12,000	12,500	13,000	14,700
対前年比	0	2,000	1,000	▲150
	100%	119%	108%	99%

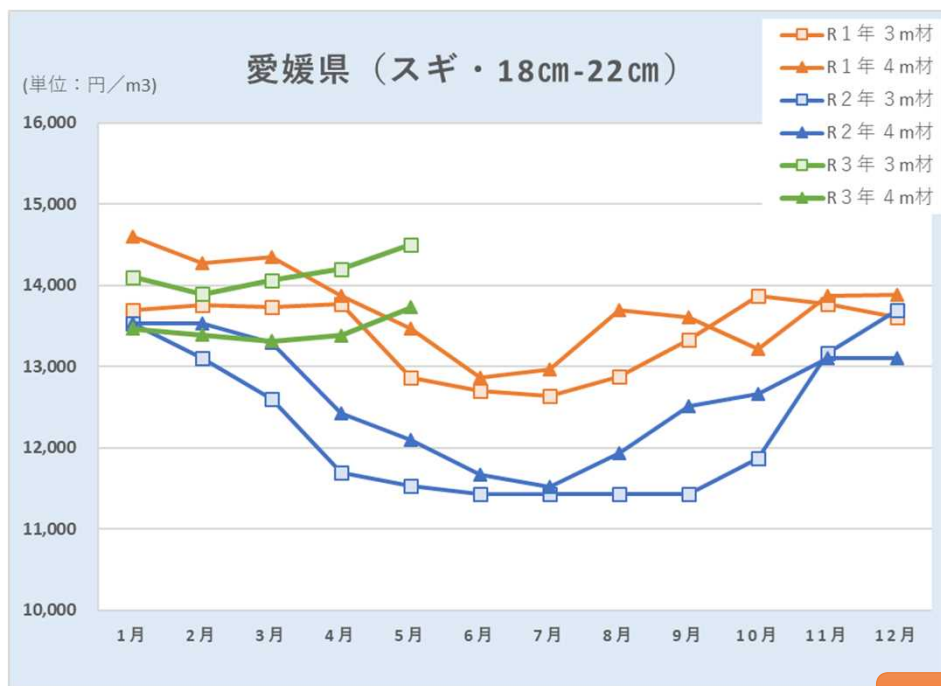
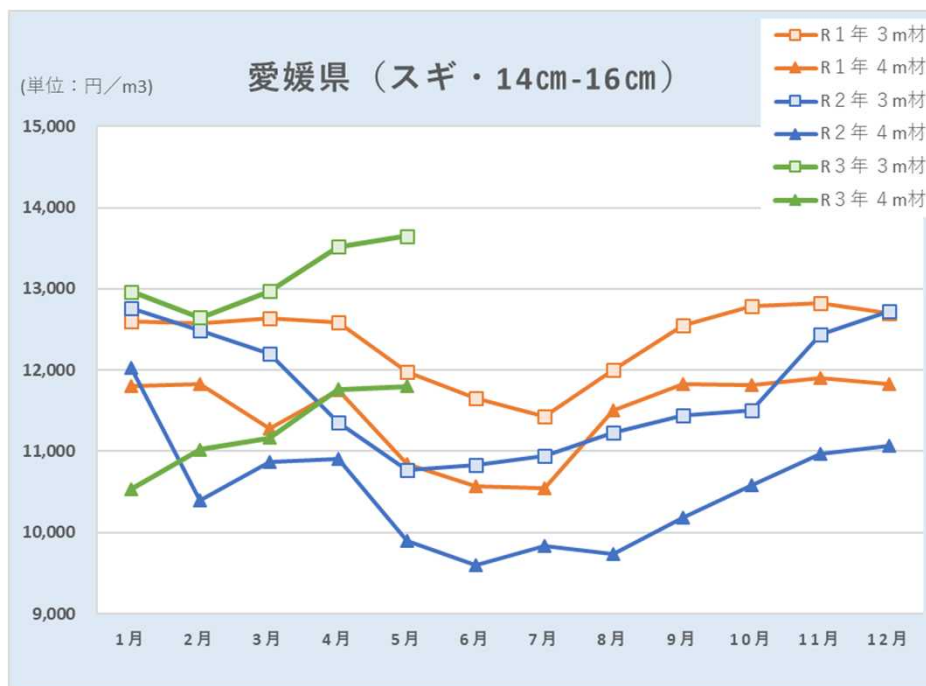


1-(2) 愛媛県内のスギ丸太価格の推移

- 令和2年は4～5月に大幅に下落、その後8月頃から原木の引き合いが良くなり価格も上向きに転じ、12月頃からは前年と同時期の水準まで概ね回復。
- 例年5～6月頃の価格は、梅雨・虫害等の影響もあり下落傾向で推移するが、本年は製材品の好調な動きから、引き続き買方の引き合いが見られ、品薄・価格上昇の傾向が続く。
- 本年5月のスギ丸太価格は、対前年比13%増から27%増。

○ 5月のスギ丸太価格 (単位：円/m³)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	10,767	9,900	11,533	12,100
令和3年	13,650	11,803	14,500	13,730
対前年比	2,883	1,903	2,967	1,630
	127%	119%	126%	113%

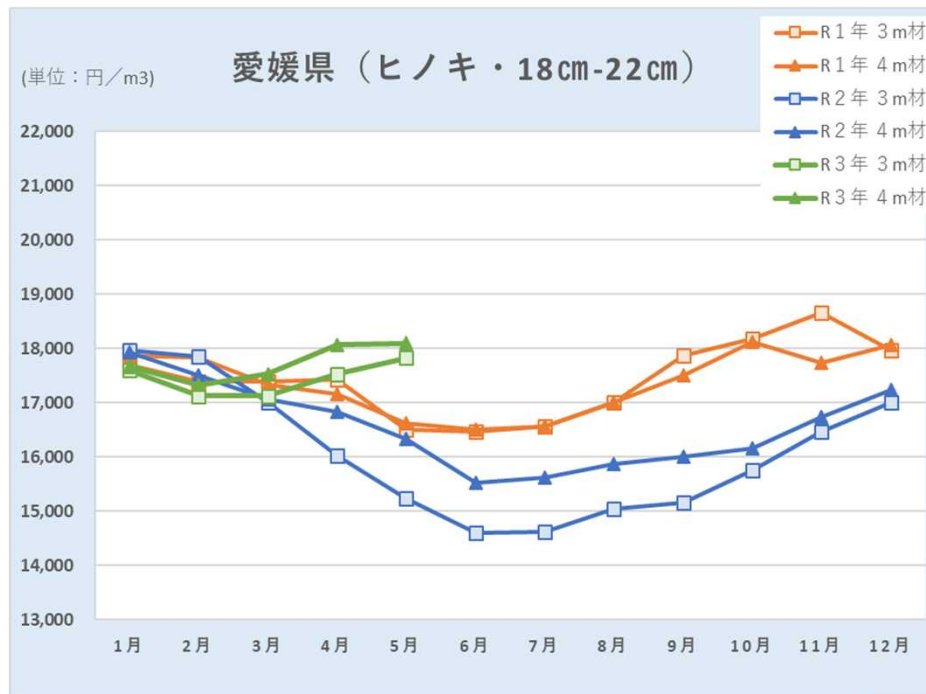
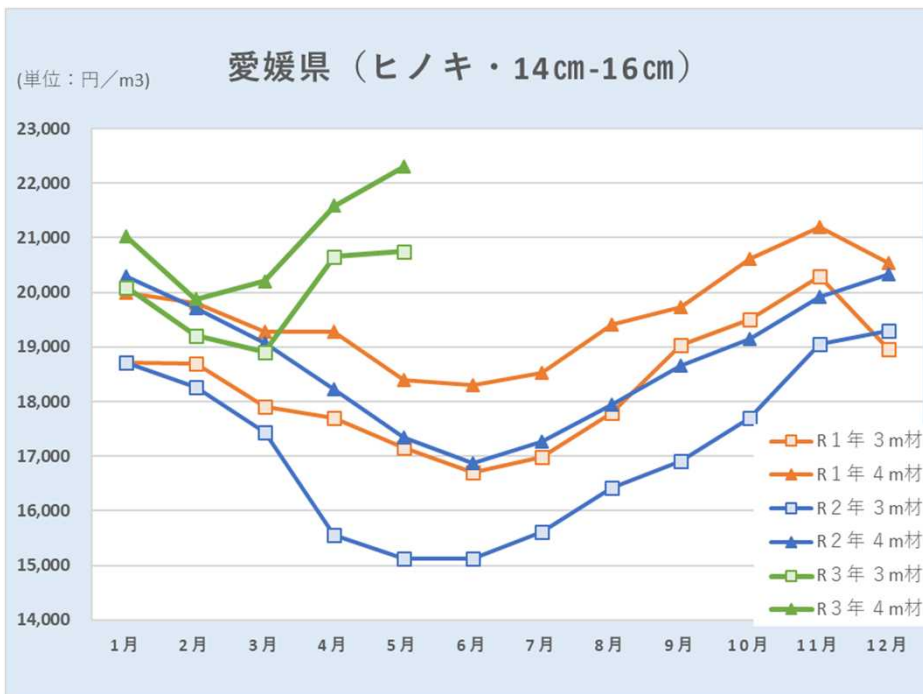


1-(3) 愛媛県内のヒノキ丸太価格の推移

- 令和2年は4～5月に大幅に下落、ヒノキもスギと同様の傾向にあり、7月頃からは原木の引き合いが良くなり価格も上向きに転じ、1月頃には前年と同時期の水準まで概ね回復。
- 本年4月頃からは、製材品の好調な動きにより、柱適材・土台取りを中心に品薄・価格高騰の傾向が続く。
- 本年5月のヒノキ丸太価格は、対前年比11%増から37%増。

○ 5月のヒノキ丸太価格 (単位：円/m³)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	15,113	17,333	15,233	16,333
令和3年	20,750	22,300	17,833	18,100
対前年比	5,637	4,967	2,600	1,767
	137%	129%	117%	111%

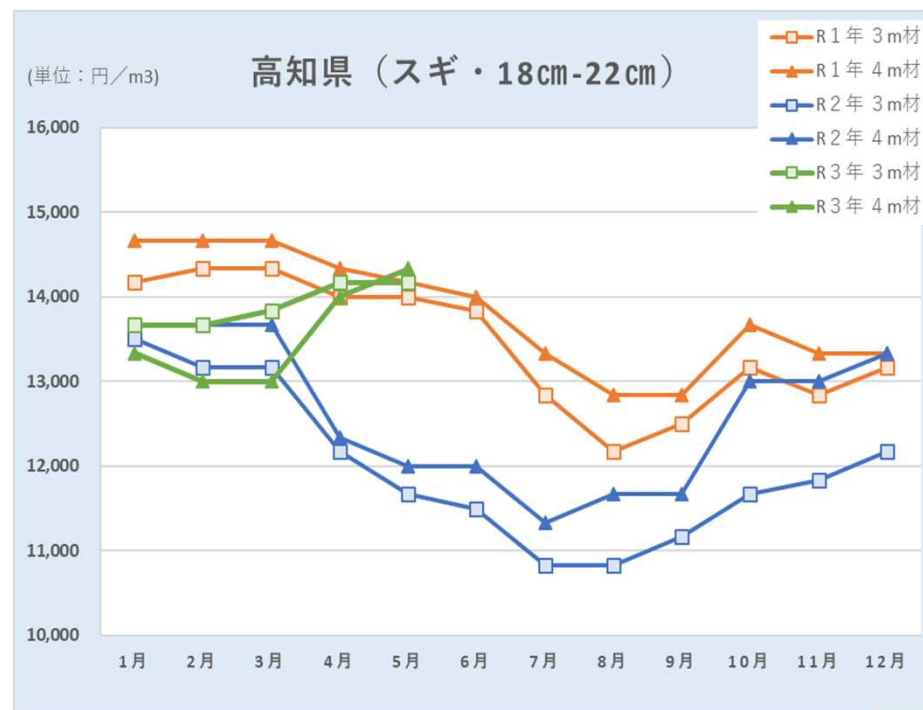
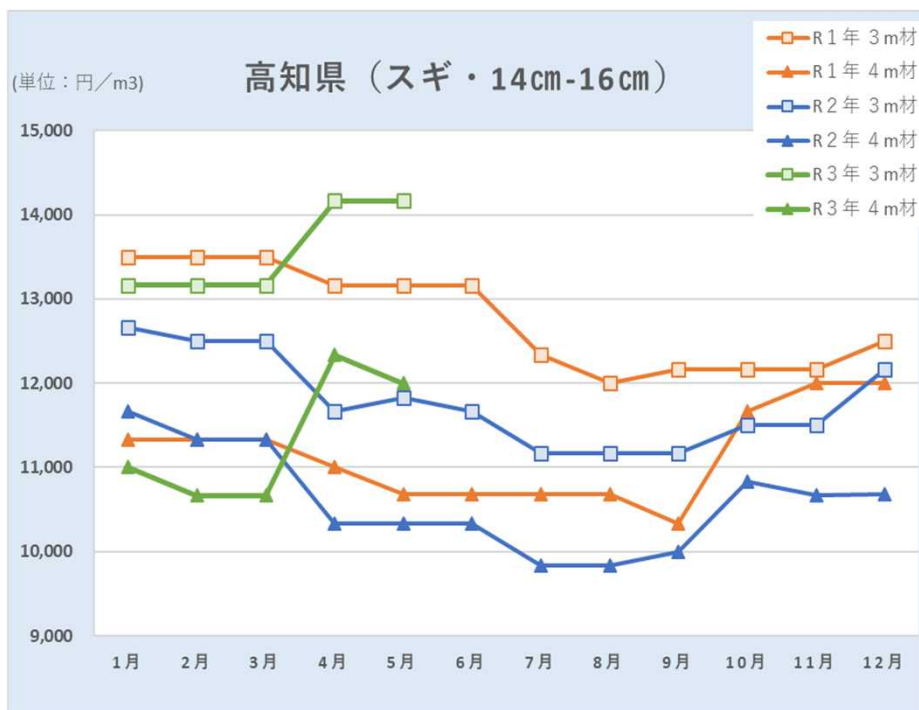


1-(4) 高知県内のスギ丸太価格の推移

- 令和2年は4月頃から梅雨期にかけて大幅に下落、その後9月頃からは回復傾向に転じ、1月頃には前年と同時期の水準まで概ね回復。
- 高知県も例年6月頃から梅雨・虫害等の影響もあり下落傾向となるが、本年4月頃からは、製材品の好調な動きから買方の引き合いが良く、品薄・価格上昇の傾向が続く。
- 本年5月のスギ丸太価格は、対前年比16%増から21%増。

○5月のスギ丸太価格 (単位：円/m³)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	11,833	10,333	11,667	12,000
令和3年	14,167	12,000	14,167	14,333
対前年比	2,334	1,667	2,500	2,333
	120%	116%	121%	119%

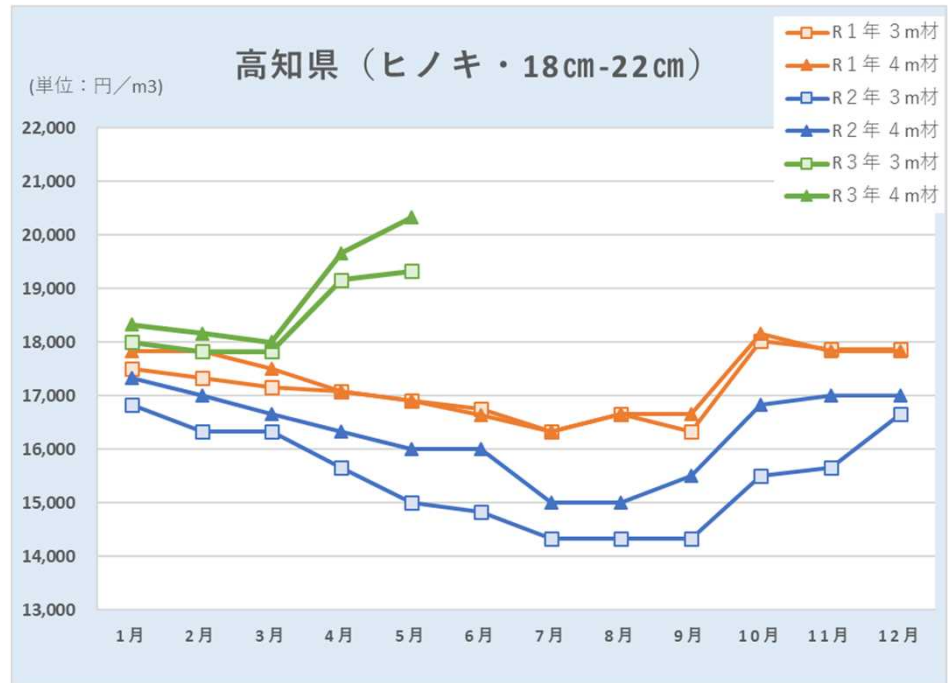
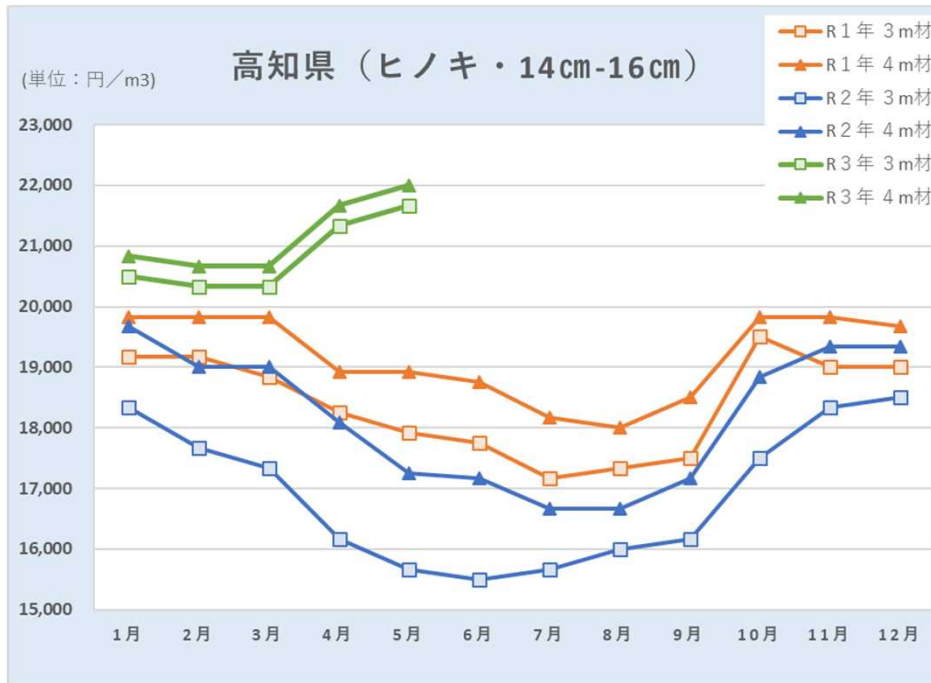


1-(5) 高知県内のヒノキ丸太価格の推移

- 令和2年は4月頃から梅雨期にかけて大幅に下落、ヒノキもスギと同様の傾向にあり9月頃からは回復傾向に転じ、1月には例年以上の価格まで上昇。
- 本年4月頃からは、製材品の好調な動きから柱適材・土台取りを中心に品薄・価格高騰が続く。
- 本年5月のヒノキ丸太価格は、対前年比27%増から38%増。

○5月のヒノキ丸太価格 (単位：円/m³)

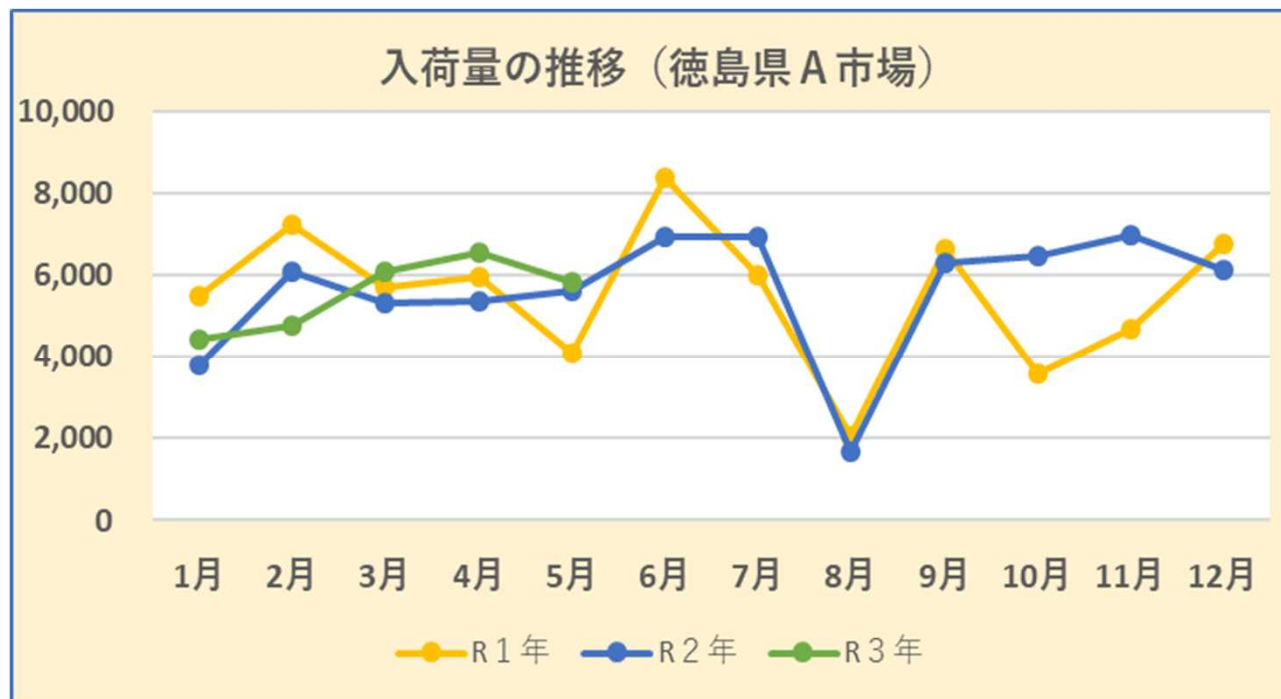
	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	15,667	17,250	15,000	16,000
令和3年	21,667	22,000	19,333	20,333
対前年比	6,000	4,750	4,333	4,333
	138%	128%	129%	127%



Ⅰ 管内における主な原木市場・共販所の状況

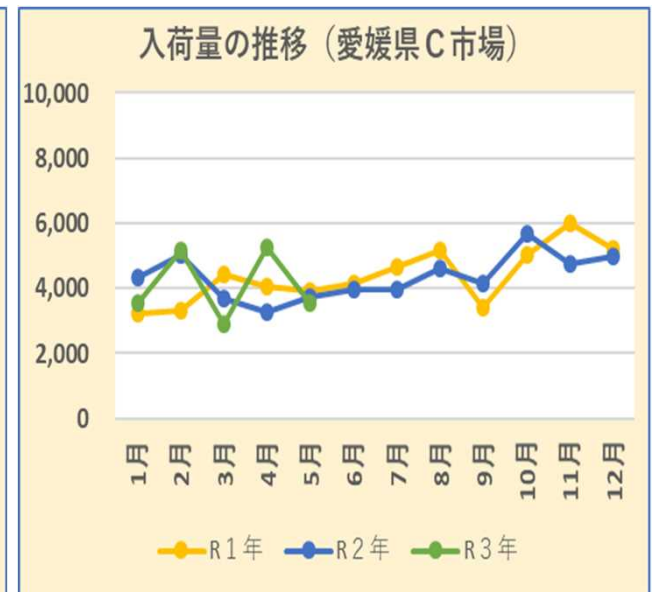
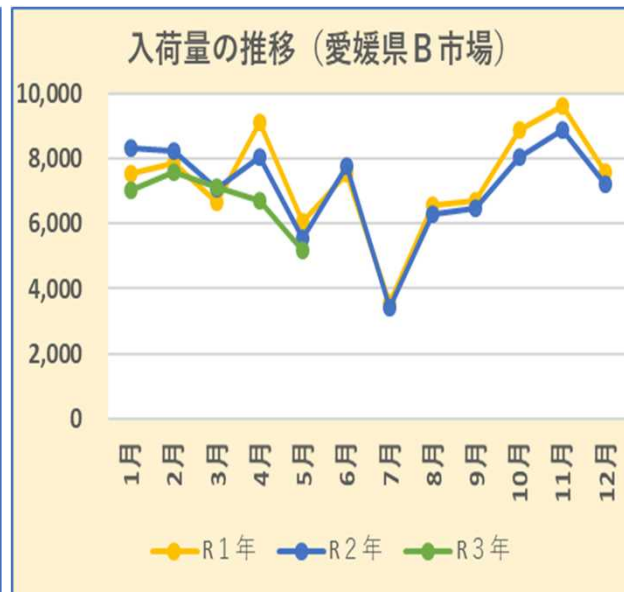
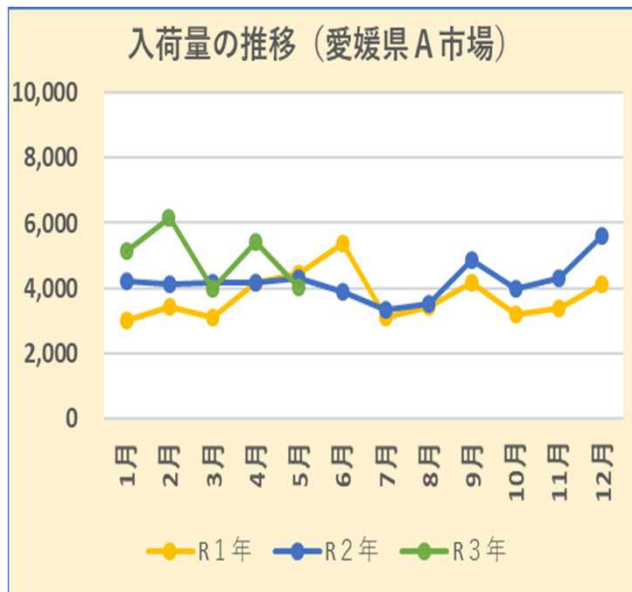
2-(1) 徳島県内の丸太取扱量の推移

- 本年4～5月の取扱量は、グラフからみる限り概ね例年並の水準で推移し、大きな変化はみられない。
- ただし、市場関係者の話では、例年より入荷が少ない状況が続いているとの声が聞かれる。



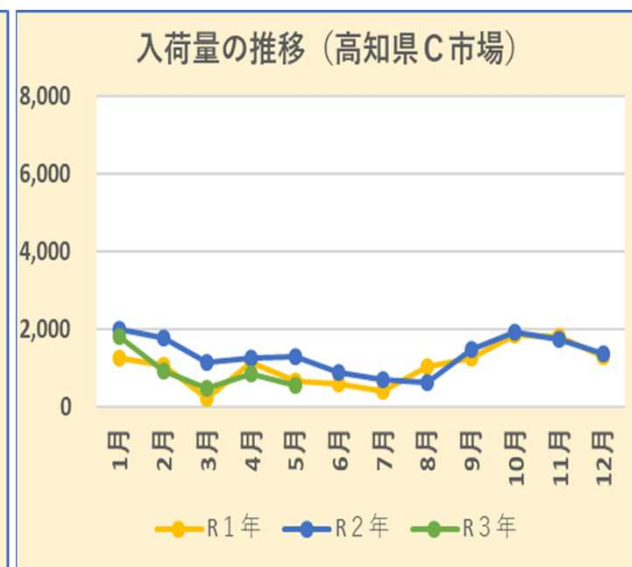
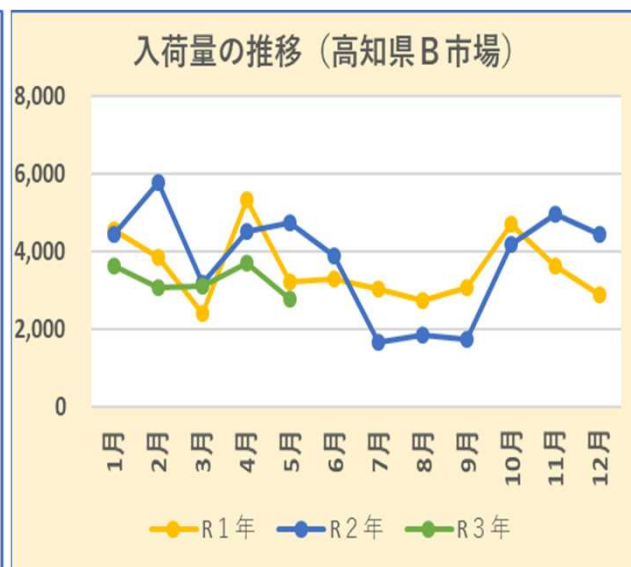
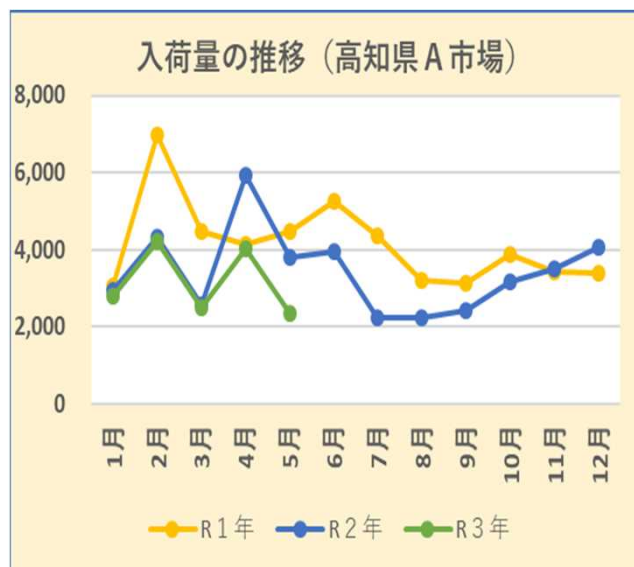
2-(2) 愛媛県内の丸太取扱量の推移

- 例年より早い梅雨入りで雨天が続いたため、5月の取扱量としては若干少なめで推移。
- 一部の市場においては、例年の9割程度との声が聞かれる。



2-(3) 高知県内の丸太取扱量の推移

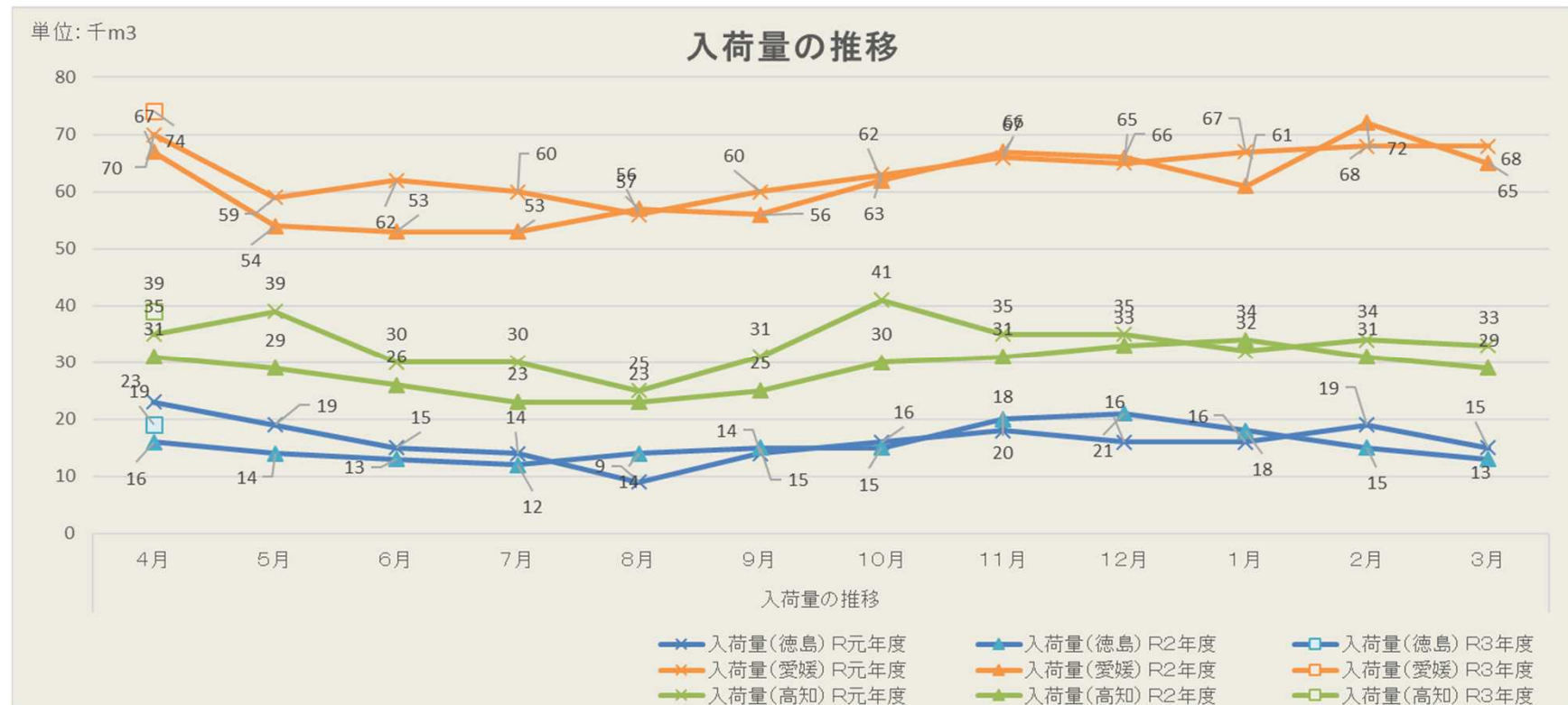
- 4月下旬から5月上旬は田植え等農繁期による林業従事者の減少に加え、例年より早い梅雨入りで路網系の現場で出材が減少。
- このため、5月は県内各市場ともに丸太の取扱量が減少。



II 管内における製材用素材の状況

1. 県別の製材用素材入荷量の推移（令和元年度～令和3年度）

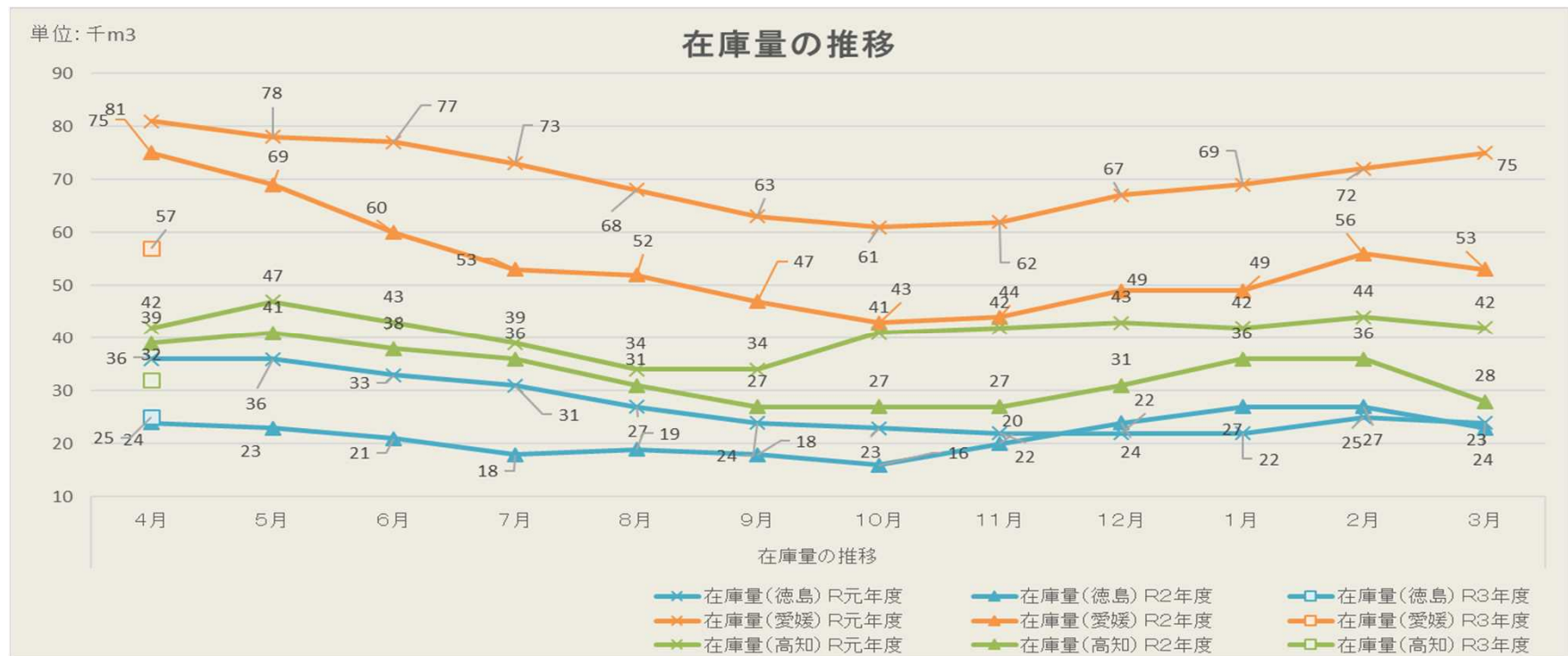
- 令和2年5月頃から製材各社の丸太買い控え等により減少した入荷量も、その後8月頃から上昇に転じ、秋以降は概ね例年の水準まで回復。
- 各県ともに製材品の好調な動きから素材の引き合いが強く、本年4月には昨年同時期を上回っている。



資料：農林水産省「製材統計」

2. 県別の製材用素材在庫量の推移（令和元年度～令和3年度）

- 各県ともに令和2年6月以降大幅に減少した在庫量は、11月頃から一時上昇傾向に転じたものの、製材各社においては好調な生産活動が続く中、素材の入荷には苦勞しているため、在庫量の回復ペースは遅い。
- このため、在庫量の増加傾向は見られるものの、例年の水準までは回復していない。

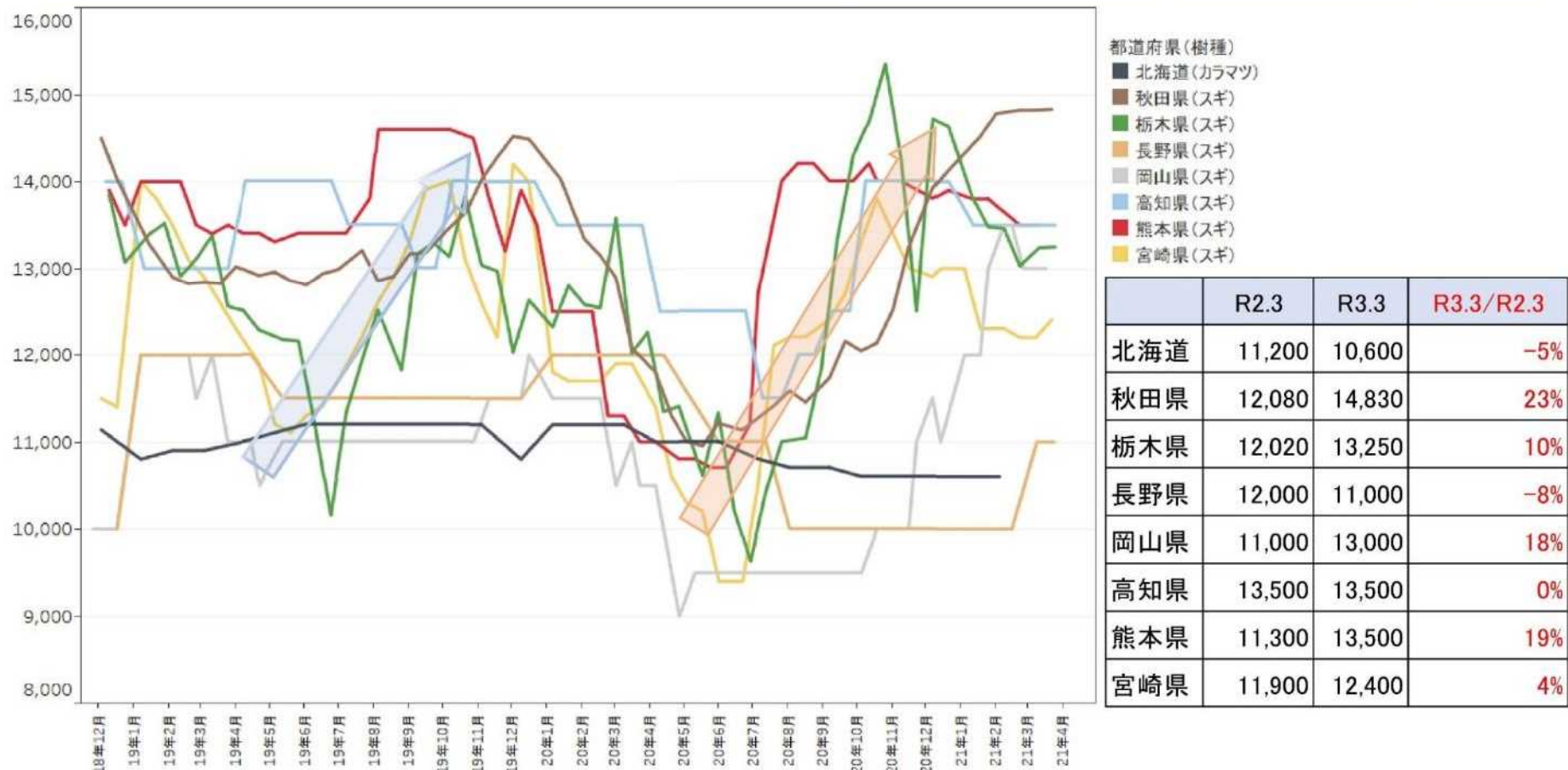


資料: 農林水産省「製材統計」

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

1 価格の動向 (1) 直近の価格推移 (原木市場・共販所) ア スギ (全国) φ24cm程度、3.65~4.0m (平成30年12月~)

- 令和2年6月頃の価格は、コロナ禍による需要減により例年よりも大きく低下したが、その後、価格が上向きに転換。11月頃に前年と同程度まで上昇しており、価格の面ではコロナの影響が出る以前まで回復。
- 令和3年3月のスギ原木価格は、対前年比8%減から23%増と増加している地域が多い。



注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。径級は24.0cm程度、長さは3.65~4mの中目原木。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

イ ヒノキ（全国） φ24cm程度、3.65～4.0m（平成30年12月～）

- ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、令和2年6月頃の価格は例年以上に大きく低下したが、10月頃には昨年同程度かそれ以上の価格まで回復している地域も見られる。
- 令和3年3月のヒノキ原木価格は、対前年比9%～27%増と増加している地域が多い。



都道府県(樹種)リスト

- 兵庫県(ヒノキ)
- 岡山県(ヒノキ)
- 広島県(ヒノキ)
- 愛媛県(ヒノキ)
- 高知県(ヒノキ)
- 熊本県(ヒノキ)
- 大分県(ヒノキ)

	R2.3	R3.3	R3.3/R2.3
兵庫県	13,000	16,500	27%
岡山県	14,500	17,500	21%
広島県	15,000	16,700	11%
愛媛県	16,800	18,300	9%
高知県	16,500	18,000	9%
熊本県	15,000	19,000	27%
大分県	16,000	19,000	19%

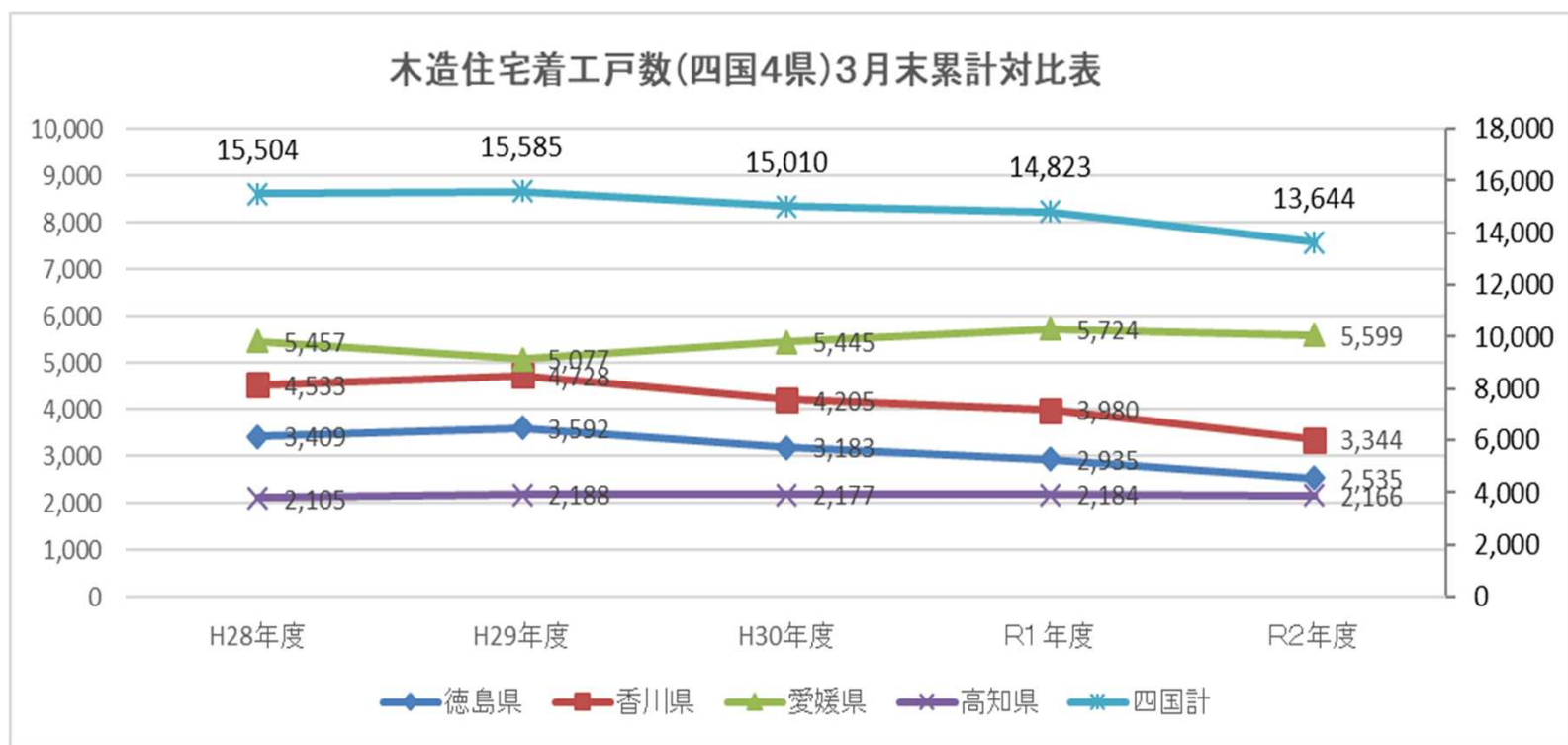
注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

資料：林野庁「令和3年度中央需給情報連絡協議会」

IV 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移

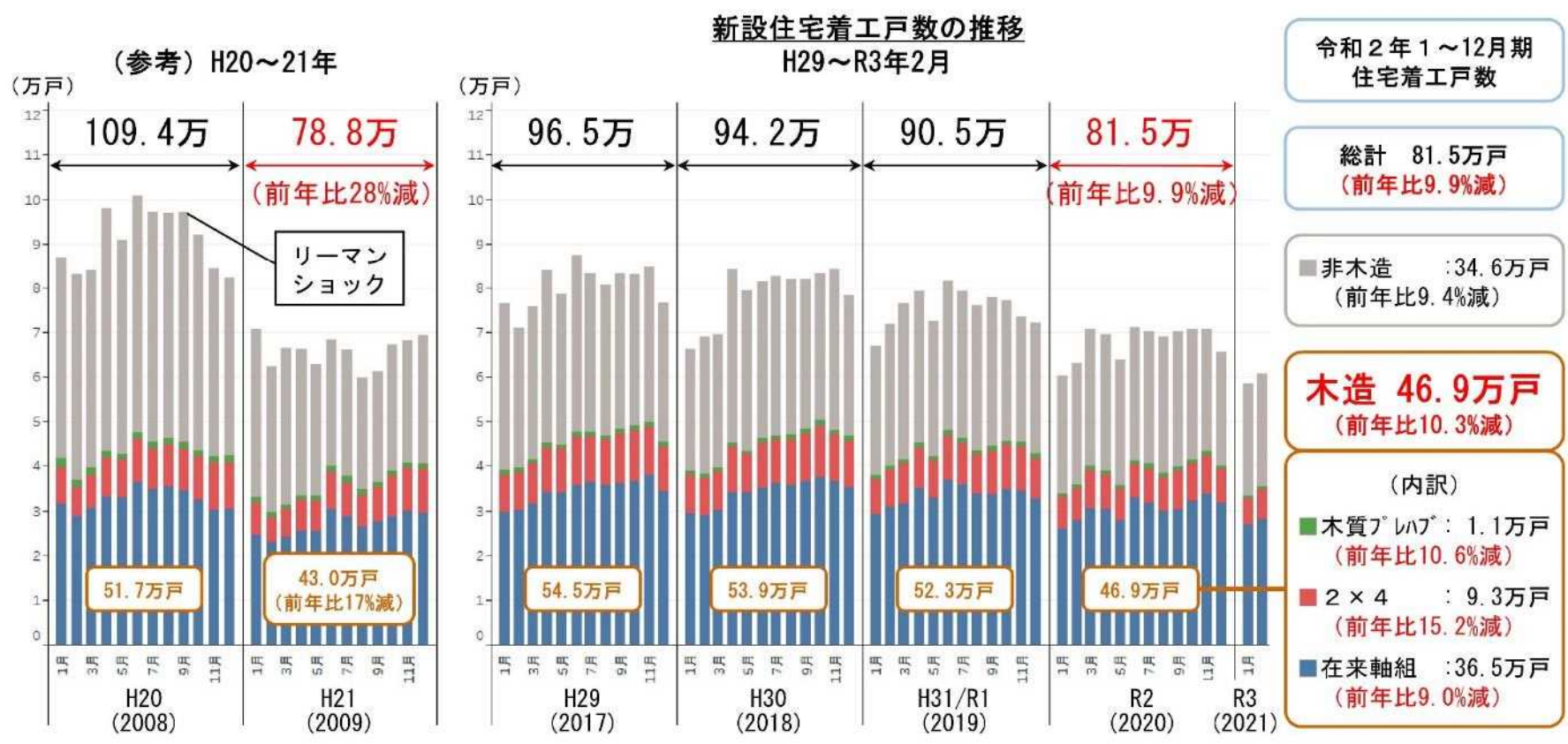
- 四国における木造住宅着工戸数の令和2年度3月末累計は、13,644戸で、前年同月末累計14,823戸に比べ1割程度減少した。
- 過去5年間での比較では、徳島県・香川県で共に26%の減少となっているが、愛媛県・高知県では概ね横這いで推移した。



資料:国土交通省「住宅着工統計」

2 全国の住宅着工戸数の推移（平成20年1月～令和3年2月）

- 令和2年の新設住宅着工戸数は、81.5万戸（前年比9.9%減）。木造住宅は46.9万戸（前年比10.3%減）。
- 令和3年1～2月の新設住宅着工戸数は、11.9万戸（前年比3.4%減）。
- 緊急事態宣言の発令により、住宅展示場の来場者数が落ち込むなど大手・注文住宅の受注機会が大幅に減少したが、郊外の戸建住宅に需要が高まるなど全体としてはリーマンショックほどの落ち込みは見られなかった。



資料：国土交通省「住宅着工統計」

資料：林野庁「令和3年度中央需給情報連絡協議会」

「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料2)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

調査月 令和3年1月～令和3年4月

- 【スギ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。
- 【ヒノキ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続

調査月 令和3年1月～令和3年4月

- 【スギ中丸太】 ・5ヶ月未満である。
- 【ヒノキ中丸太】 ・5ヶ月未満である。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

調査月 令和3年1月～令和3年4月

- 【スギ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。
- 【ヒノキ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

調査月 令和3年1月～令和3年4月

- 【スギ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。
- 【ヒノキ中丸太】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

調査月 令和3年1月～令和3年4月

- 【徳島県・愛媛県】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。
- 【愛媛県・高知県】 ・3月は逸脱下限値を若干下回ったが、4月には定常範囲に戻った。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領（平成25年7月30日付け25四資第19号）の2の（ア）から（オ）に係る確認

〔判断基準・指標〕

- 過去10年間の月別データを基に、平均と標準偏差から95%の信頼区間を算出し、その区間を逸脱するか否かを確認
- 使用データは、農林水産省の「木材価格」・「製材統計」を使用

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

	逸脱上限値 5.49%		逸脱下限値 -5.47%						逸脱上限値 19.19%		逸脱下限値 -19.21%		逸脱上限値 15.90%		逸脱下限値 -16.36%	
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)			
	1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	4月
スギ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	-1.49%	-0.53%	-0.81%	3.21%	-1	-2	-3	1	0.82%	-0.07%	1.54%	5.06%	5.19%	4.59%	1.80%	3.87%

注1) 数値のアンダーラインは定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

	逸脱上限値 7.12%		逸脱下限値 -7.42%						逸脱上限値 20.60%		逸脱下限値 -25.31%		逸脱上限値 18.02%		逸脱下限値 -23.51%	
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)			
	1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	4月
ヒノキ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	-1.49%	4.07%	1.05%	4.01%	-1	1	2	3	-2.31%	2.90%	6.53%	13.70%	6.70%	10.41%	8.69%	10.10%

注1) 数値のアンダーラインは定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率				逸脱上限値		逸脱下限値	
	1月	2月	3月	4月				
製材用素材(徳島・愛媛)	0.98	1.05	0.94	1.01	1.90	0.80		
製材用素材(愛媛・高知)	0.93	0.99	0.85	0.92	1.57	0.90		

注1) 数値のアンダーラインは定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。